

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

【求人充足対策】

- ◆求人事業所からの対面による面談を望むニーズに応えるため、徹底した感染防止対策を講じたうえで、1回あたりの参加事業所数を1～3社に限定してミニ面接会を開催しました。
 - ・参加事業所：人材不足分野（介護・看護・保育・建設・警備・運輸）を中心に幅広い分野を対象（年間36回開催）
 - ・参加求職者：郵送・窓口・SNS等により幅広く周知
- ◆就職氷河期世代歓迎求人・限定求人にかかる求人開拓、事業所訪問を積極的に実施しました。
（のべ求人受理数181件）
- ◆玄関ホールに掲示しているお勧め求人の掲示手法をより見やすく工夫しました。
- ◆ハローワークを利用した就職の状況を可視化するため、当所経由の紹介就職者数を記載したポスターを毎月作成し、所内掲示板等に掲示しました。
- ◆求人充足会議において、求人充足可能性基準に照らし選定した求人に対して、以下のような取組を通じて、求人充足に向けてフォローアップしました。
 - ・企業支援部門並びに職業紹介部門の職員が、求人充足可能性基準に照らし選定した求人事業所を訪問し、求人票に記載されない就業場所の「音」や「におい」といった作業環境について取材し、取材した結果を求職者に伝わるよう情報発信している。
 - ・求職者が求めている条件を把握する紹介担当者と、求人者が求めている人物像を把握する求人担当者がお互いに意見交換し、求人票に記載されている内容が求職者にわかりやすく伝わるよう修正することで、マッチングの向上を図っている。
 - ・動画撮影を希望する求人事業所を訪問し、事業所の魅力発信につながるよう動画を撮影している。撮影した動画は、当所ホームページに掲載するほか、所内待合スペースにおいて、求人事業所の動画をデジタルサイネージで放映することで、求人事業所の様子、仕事内容などを目に見える形で情報発信している。

【DX化の推進】

◆求人者マイページの利用を積極的に促すため、担当部署の職員への意識付けを行い、窓口・郵便・電話等により積極的に勧奨した結果、求人者マイページの大幅な開設率アップにつながりました。

【一体的実施施設の連携強化】

◆人材不足分野である介護事業所の人材確保に向けた取組として、地方自治体、関係団体等とともに「介護の仕事説明会」を年2回開催しました。事前の周知から当日の業務運営に至るまで、三位一体となってお互いの強みを活かした結果、多くの来場者を集め、雇用の創出につなげることができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

◆中長期的な職員の育成を図る観点、また、緊急時の事業継続に向けた応援体制構築のため、所属する課部門以外の業務を学ぶことを目的とした業間研修を実施し、正規職員全員が受講しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

【求職者担当者制による進捗管理】

◆能動的なマッチングを推進していくために、求職者担当者制による進捗管理を導入し、担当する求職者に対して定期的に求人情報を発信する取組を実施しました。

【求人情報検索の利便性向上】

◆求人検索の利便性向上のため、「かんたん求人検索」（ハローワークインターネットサービスの求人検索と比べ、求職者が希望する求人を簡易に検索できる機能）を当所ホームページに掲載しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

◆求人開拓、事業所見学等あらゆる場面を活用して事業所訪問の機会を確保し、職業相談窓口で提供できる求人票以上の事業所情報の収集等、更なる求人者サービスを展開します。

◆求職者に対するマイページ開設の働きかけを行ううえで、職員・非常勤職員のマイページに係る知識・スキルの更なる向上を図ることが肝要であるため、できるだけ早期に、紹介部門全職員に対して、求職者マイページ開設に係る研修を実施します。

◆求職者担当者制について、運用方法を見直し（受け持ち人数の増加など）をしたうえで、求職者ニーズを捉えた課題解決支援サービスの提供や求人提案等、きめ細かな就職支援サービスを実施します。

◆訓練受講者に対する支援について、訓練中のみならず訓練終了後一定期間も継続して積極的にアプローチし、課題に応じた支援を実施します。

（４）その他業務運営についての分析等

【外国人の就労支援】

外国人求職者については、基幹産業である自動車製造が半導体をはじめとする部品の供給不足や原材料価格の高騰などの影響により、派遣労働者の解雇・雇い止め等による退職者の増加が予測されるため、地方自治体と連携した求人確保及び就労支援に取り組んでまいります。

【障害者の就労支援】

障害者の就労支援については、就労移行及び就業・生活支援センター等とのチーム支援が不可欠なため、就労移行及び就業・生活支援センターとの連携を強化して取り組んでまいります。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代 (35歳～54歳)の 不安定就労者・無 業者の件数	障害者の就職件数	人材不足分野の就 職件数	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数
令和4年度実績	3,050	2,641	1,420	92.2%	94.0%	332	431	648	171
令和4年度目標	3,231	2,795	1,356	90.0%	90.0%	274	358	666	162
目標達成率	94%	94%	104%			121%	120%	97%	105%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率